

# ぎふ感染症かわら版

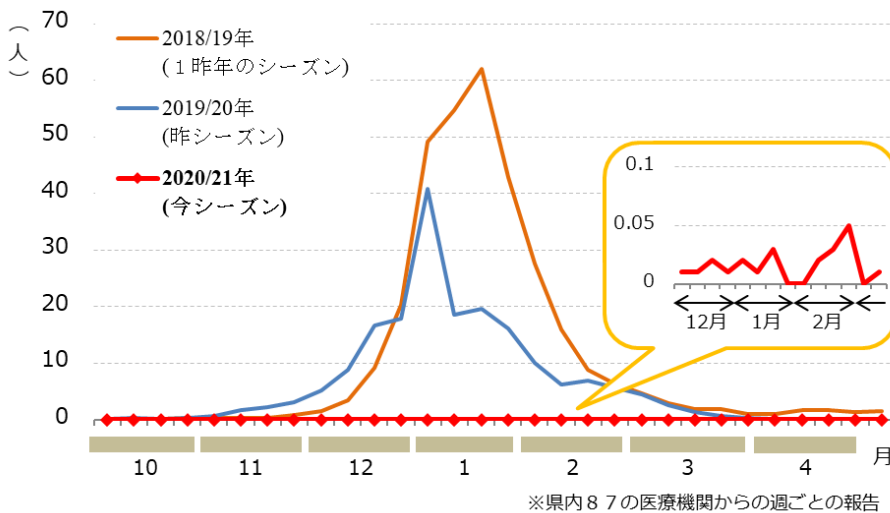
令和3年7月9日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## 新型コロナウイルス感染症への日常的な予防対策の効果について ～2020/21 シーズン、インフルエンザの流行はみられませんでした～

新型コロナウイルス感染症への日常的な感染予防対策は、不便を感じることも多く、その効果に疑問を持たれることがあるかもしれません。しかしながら、年末年始に例年みられるインフルエンザの流行は2020年から2021年にかけての冬季にはみられず、その原因は新型コロナウイルス感染症への予防対策の効果が大きいと考えられ、個人レベルでの感染症対策の重要性が示されています。

インフルエンザの1医療機関あたりの患者数の推移



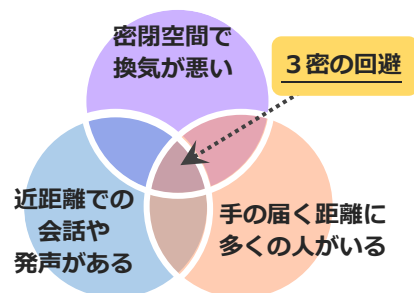
インフルエンザは発熱、咳、頭痛、関節痛などが急にあらわれ、ふつうの風邪よりも全身の症状が強いのが特徴です。お子さんや高齢の方、持病のある方では、重い症状となることがあります。



どうして今シーズンは流行しなかったの？

いくつかの理由が考えられますが、なかでも新型コロナウイルス感染症への感染予防対策の効果が大きいと考えられています。

インフルエンザは、新型コロナウイルス感染症と同様に、感染している人のくしゃみや咳などによる飛沫感染、あるいはウイルスの付いた手指などを介した接触感染によってうつります。そのため、**3密の回避や手洗いの励行などの感染予防対策**はインフルエンザなど、飛沫感染や接触感染する他の感染症にも有効と考えられるからです。



## 全国の状況について

インフルエンザ患者数の激減は、岐阜県だけでなく今シーズン全国的にみられました。全国約 500 カ所の医療機関からのインフルエンザによる入院患者の届出数は、累計で今シーズン 112 人（令和 3 年 3 月 1 2 日時点のデータによる）となっており、昨シーズンの約 0.88%、一昨年のシーズンの約 0.60%と激減しました。

### インフルエンザによる入院患者の届出数

	累計（人）
2018/19 年（一昨年のシーズン）※	18,556
2019/20 年（昨シーズン）※	12,736
2020/21 年（今シーズン）※	112

※第 36 週(9月)から翌年第 9 週(3月)まで



また、人口動態調査（厚生労働省）によれば、インフルエンザによる死亡数も今シーズンはこれまでと比較して激減しています。

### インフルエンザによる死亡数

	死亡数（人）		
	12月	1月	2月
2018/19 年（一昨年のシーズン）	95	1,685	1,107
2019/20 年（昨シーズン）	254	597	222
2020/21 年（今シーズン）※	8	3	現在集計中

※2021/7/6 時点での人口動態統計月報（概数）による

また、直接的及び間接的にインフルエンザの流行によって生じた死亡を推計する超過死亡という考え方があり、この方法によりインフルエンザによる年間死亡者数は、国内で年間約 1 万人と推計されています。入院患者数の報告が例年の 1%以下であったことを考えると、今シーズンインフルエンザでお亡くなりになった方の数も相当数減少していると考えられます。

#### ◆ 参考資料（詳しくはこちらをご確認ください）

- ・インフルエンザ（総合ページ）（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

- ・インフルエンザ流行レベルマップ（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-map.html>



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。  
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

